

2010MHC 登山講習 「花の奥上高地」 報告書

5月29日 AM7:30、参加者8名が市専用バスに乗り込み、松本市安曇支所を出発。上空は曇天模様。新緑萌える梓川沿いに車を走らせ、長さ1350mの新釜トンネルを抜けると、展望が開け、左に残雪の焼岳、そして道を大きく右に曲がると、流れる雲間から空高く、残雪の穂高岳連峰が望まれる。大正池畔で一旦下車し、大自然の空気を味わう。



残雪頂く穂高岳と飛沫を上げて流れる梓川



木道に行く

ユキザサ



キケマン



スミレ



ラショウモンカズラ

バスターミナルで市バスを降り、AM8:30 準備を整え出発。若葉萌え始める林の中、5分程で河童橋に到着。雪解け水を集めて流れる梓川畔から見上げる空に、残雪頂く穂高岳が聳え立つ。ここから梓川右岸の林の中に行く。湿地帯に架けられた木道を歩き、鳥がさえずる梓川右岸沿いの小道を進む。



シロバナエンレイソウ



ツバメオモト



ニリンソウ咲く林道に行く



蛇行して流れる梓川

途中、梓川支流に泳ぐ岩魚を見つけ歓声をあげる。一汗かいて、AM10:30 嘉門次小屋に到着。奥の囲炉裏部屋に陣取り、岩魚の塩焼きを賞味し、ビールで喉を潤す。一時間程の休憩の後、梓川左岸に渡り、明神から徳沢に向う。ここからは、ニリンソウ、シロバナエンレイソウが一面に咲き、道端にはサンカヨウ、ツバメオモト、エゾムラサキなど白い花々が咲く。PM3:15 今日の宿、横尾山荘に到着する。

皆、新緑のみずみずしさ、梓川清流の流れ、仰ぐ豪快な明神岳、前穂高岳に感動し、幾百年の樹木、そして春の花々に、心洗われる気持ちとなる。

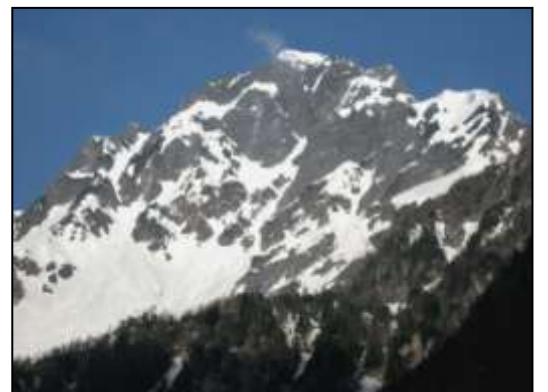


ニリンソウ咲き競う徳沢

サンカヨウの花



新芽を食べる野猿



大迫力で仰ぐ前穂高岳東壁

30日快晴の朝。AM7:30、お世話になった主人の山田さんにお礼を言って、横尾を出発。左岸土手から暫らくで河原の中を歩き、仮設の橋梁を渡って右岸を進む。奥又白入り口付近から、小説「氷壁」を想い、そそり立つ前穂高東壁を仰ぐ。この後、新村橋の吊橋を渡り梓川左岸を歩き、AM10:00 徳沢に到着。花々の咲く往路を引き返し、明神、小梨平を経由して、PM12:15 バスターミナルに辿り着く。

2Fの食堂で昼食を摂り、PM1:00 駐車場で待つ市バスに乗り、PM2:00、松本市安曇支所に到着、解散とした。「新緑の山々と花々の多さを再認識させられた、全員大満足の山旅だった。」